

水資源機構

池田総合管理所

操作説明

ダム・堰情報

観測点

状況表

状況グラフ

雨量情報

水位情報

水質情報

防災体制状況

画像情報

過去データ

リンク

川の防災情報

気象情報

池田総管HP

お知らせ

流域概況図

観測時刻: 2022 年 06 月 21 日 09 時 00 分

早明浦ダム	本日0時の利水貯水率(%)	35.9	本日0時の利水貯水量(千m ³)	52790	利水貯水率(速報値)(%)	35.8
銅山3ダム合計	本日0時の利水貯水率(%)	20.0	本日0時の利水貯水量(千m ³)	12431	利水貯水率(速報値)(%)	20.0

電梯ダム上流域平均雨量

電梯一柳瀬流域平均雨量

柳瀬一新宮流域平均雨量

時間	1.3	mm/h	時間	0.7	mm/h	時間	0.5	mm/h
累計	6.3	mm	累計	5.1	mm	累計	3.0	mm
流入量	1.50 t	m ³ /S	流入量	4.03 t	m ³ /S	流入量	0.67 t	m ³ /S
全放流量	3.39 t	m ³ /S	全放流量	3.11 t	m ³ /S	全放流量	0.16 t	m ³ /S

富樫ダム

柳瀬ダム

新宮ダム

池田ダム

早明浦ダム

電梯ダム

銅山3ダム

自流量

瀬戸川取水堰

地蔵寺川取水堰

早明浦ダム

池田ダム

流入量

全放流量

取水量

放流量

凡例

前回観測値と比べて

池田総合管理所

操作説明

ダム・堰情報

観測点

状況表

状況グラフ

雨量情報

水位情報

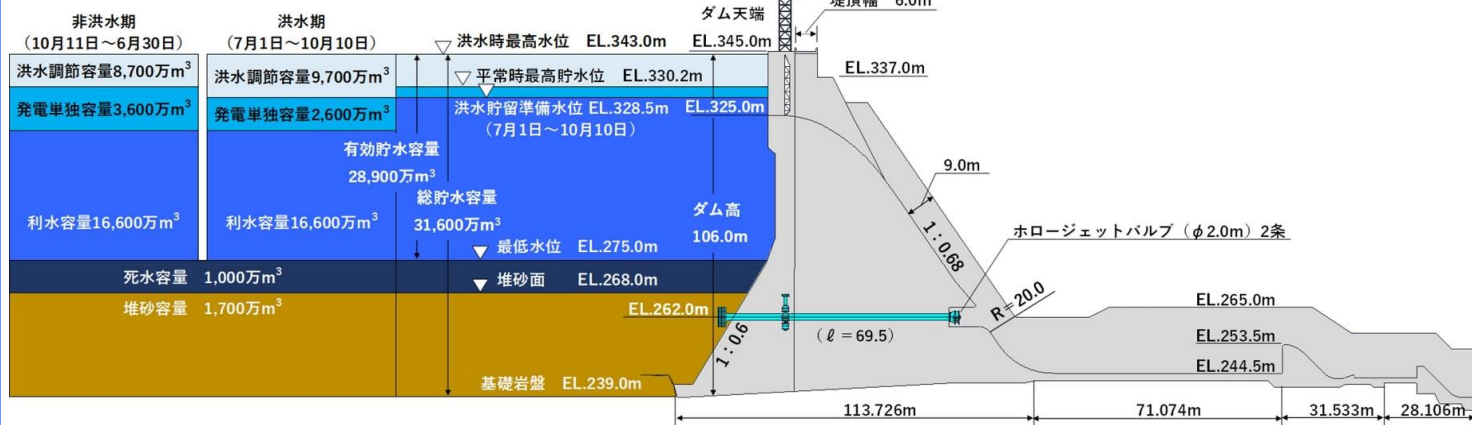
早明浦ダム状況表示

状況グラフ

観測時刻: 2022 年 06 月 21 日 09 時 00 分

利水貯水率(%)	35.9
利水貯水量(千m ³)	52790

イモード <https://www.ikesou.jp/imode/index.html>



An aerial photograph of the Miyayama Dam and Lake Miyayama in Japan. The dam is a large concrete structure with multiple spillways, situated in a deep valley. The reservoir is a large, dark blue body of water that fills the valley and extends into the surrounding mountains. The surrounding landscape is characterized by steep, forested mountains and a small town or village located near the dam. The image captures the scale of the dam and its integration into the natural environment.



池田総合管理所ホームページ
<https://www.water.go.jp/yoshino/ikeda/>

早明浦ダムの概要

1. ダムの位置

早明浦ダムは、高知県土佐郡土佐町田井と高知県長岡郡本山町吉野にまたがり、吉野川の河口から約140kmの位置にあります。

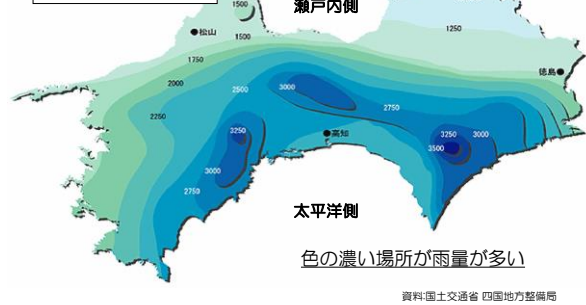
★吉野川の概要

吉野川は、その源を高知県瓶ヶ森に発し、四国の中央をほぼ東西に流れ、紀伊水道に注ぐ総延長194kmの我が国でも有数の大河川です。

吉野川の流域は四国四県にまたがり、流域面積は3,750km²で四国全域の面積の約20%を占めています。



年間降水量分布図



★なぜ？早明浦ダムが造られたのか。

瀬戸内側は、1年間に1,250mm程度しか雨が降らず水不足に悩まされてきました。これとは反対に太平洋側の高知県では、1年間に3,000mm以上の降雨があるとともに台風の襲来等により洪水災害に悩まされていました。

問題を解決するための計画

- 雨がたくさん降る地域にダムを造り、洪水をせき止めて、吉野川沿いの洪水災害の軽減を行う。
 - ダムに貯えた水を水道用水、工業用水、農業用水として雨の少ない地域へ送り水不足を解消させる。
- その計画の1つとして、「早明浦ダム」が造られました。

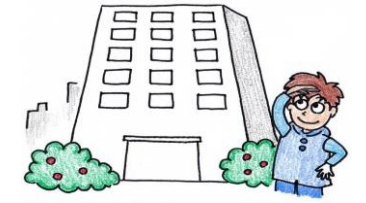
2. ダムの諸元



河川名	吉野川水系吉野川	
所在	左岸	高知県長岡郡本山町吉野
	右岸	高知県土佐郡土佐町田井
目的	1. 洪水調節 2. 流水の正常な機能の維持 3. 新規用水の供給 4. 発電(水力発電)	
型式	重力式コンクリートダム	
堤高	106m	
堤頂長	400m	
堤体積	118万7千m ³	
流域面積	472km ² (汗見川取水55km ² 含む)	
貯水池面積	7.5km ²	
総貯水容量	3億1千6百万m ³	
有効貯水容量	2億8千9百万m ³	
着手/管理開始	1967(昭和42年)/1975(昭和50年)	

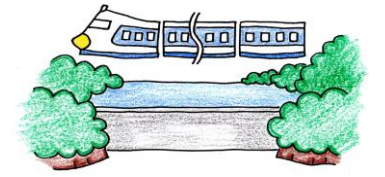
ダムの高さ

106m
27階建てビルに相当します。



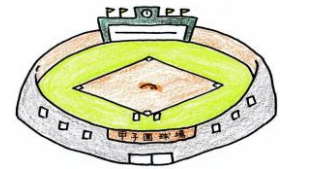
ダムの長さ

400m
新幹線16両分と同じ長さです。



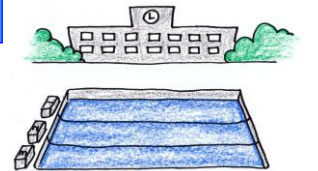
貯水池面積

7.5Km²
甲子園球場の約188倍の面積です。



総貯水量

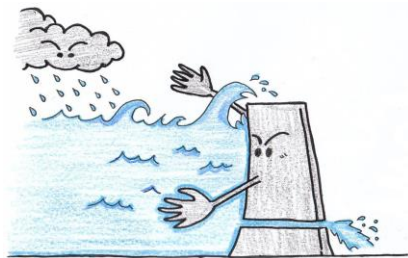
3億1千6百万m³
学校の25mプール約75万杯分です。



早明浦ダムの目的

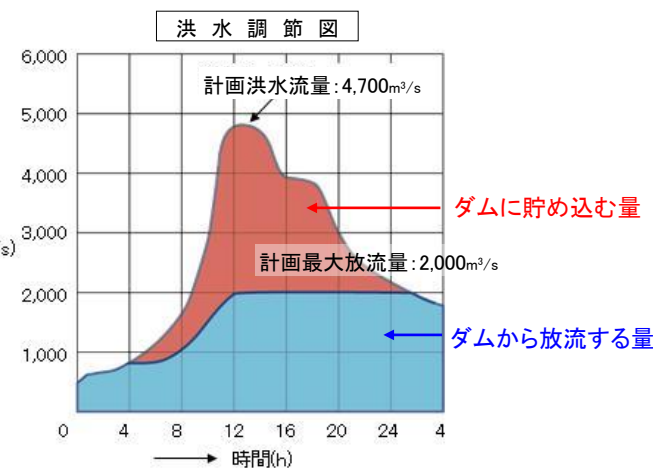
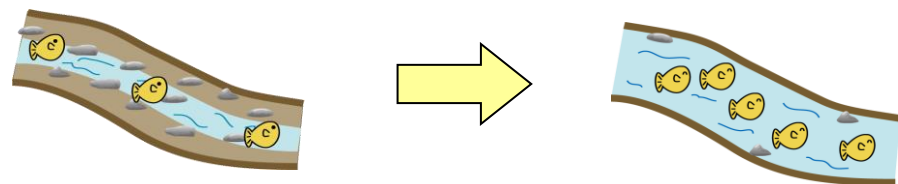
1. 洪水調節

台風などによる洪水時に下流の洪水被害を軽減します。



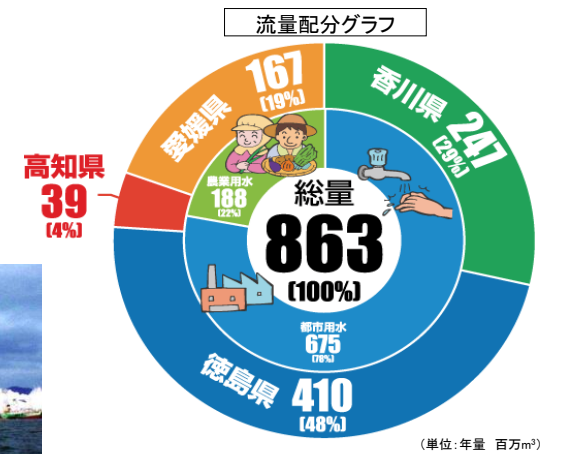
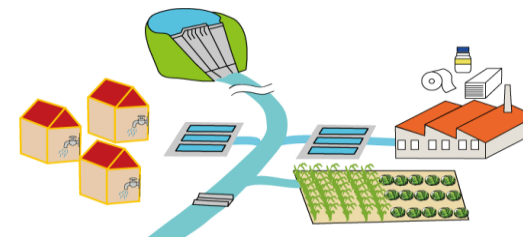
2. 流水の正常な機能の維持

河川環境を維持するため、いつも川に水が流れるようにします。雨が降らず日照りが続いたときでも、魚などの生物が生活でき、ダムを造る前から川の水を利用していた人達が困らないように、ダムに貯めた水を計画的に流します。



3. 新規用水の供給

ダムに貯めた水を計画的に流し、四国四県の農業用水・都市用水(水道、工業)の新規用水として使用します。ダムから流した水は他のダムや水路を通じて各家庭や工場などへ送られます。



4. 発電（水力発電）

ダムに貯めた水を流すときの、水の落差を利用して電気をつくります。

- ・有効落差：最大76m
- ・使用水量：最大65m³/s
- ・運転開始：昭和47年2月7日
- ・最大出力：42,000kw
- ・事業者名：電源開発株式会社

